

TTC提案山行実施報告

(2016年5月15日 報告者:KE)

1.山行名	天城山(万二郎岳・万三郎岳) [1299/1405.6m 静岡県]			
2.実施日	平成28年5月14日(土) 日帰り		マイクロバス	
3.天候/参加人数	天候:晴れ レベル ★★☆☆ 参加者:17名(男8名/女9名)			
4.パーティスタッフ	CL/計画:	SL:	会計:	救護/写真: スタッフ名削除
5.参加メンバー	A班: ☆ ☆印班長		参加者氏名削除	
	B班: ☆			
	C班: ☆		合計17名(お試し参加1名を含む)	
6.費用 1人当り 3,600円	マイクロバスレンタル料 ¥29,268 燃料代(@90x(250+50)/5)=¥5,400 ドライバー謝礼¥18,000 高速料金:小田厚道路 ¥720, ターンパイク¥2,280, 伊豆スカイライン(天城高原迄)¥2,450 修善寺道路 ¥200, 伊豆中央道 ¥200, 新東名高速 ¥2,280 費用合計 ¥60,798 集金額 1人 3,600 * 17名=¥61,200 (¥61,200-¥60,798=¥402(カンパ金に充当))			
7.所要時間		歩行時間	休憩時間	行動時間
	昭文社ガイド	6:55	—	—
	計画	6:55	1:35	8:30
	実行	6:35	1:40	8:15
歩行時間比(実行/計画) 0.951				
歩行時間比(実行/昭文社ガイド) 0.951				
行動時間比(実行/計画) 0.971				
実行コースタイム記録				
小田厚道路 ターンパイク 伊豆スカイライン				
鳶尾 ===ヨ一カド一前===厚木西IC===小田原西IC===大観山PK(休)===十国峠=				
600	620	625	700	720-725 745
	15	50	45	30
				25 [昼食40]
				30
				45
天城高原ゴルフ場……四辻……万二郎岳……石楠立……万三郎岳……小岳(戸塚山)……戸塚峠……白田峠……				
840-855	9:10 9:15	10:05-10:10	10:55	11:25-11:35 12:00-12:40 13:10 13:40-13:50
	05	60	30	30
				修善寺道路 伊豆中央道
……八丁池……八丁池トイレ(休)……向峠……天城峠……天城トンネル……越路……長岡北IC……長泉IC……				
14:35-14:50	14:55-15:00	16:00-16:10	16:40	17:10 18:15
新東名高速				
長泉沼津IC===足柄SA===東名厚木IC===ヨ一カド一前===鳶尾				
18:40	18:55-19:30	20:25		
コースの概要、特記事項、反省事項等				
[コース概要]				
晴天の下 6:20 厚木ヨ一カ堂前を出発。総勢17名天城高原ゴルフ場の天城山登山口をめざす。 伊豆スカイラインを出てから天城高原ゴルフ場の手前のカーブの多い道で車酔いをしたKIさんが調子をくずした。顔色もすぐれず心配しましたが本人が大丈夫と言うことで目的地に向かった。 天城ゴルフ場PKは満車でガードマン指定の場所で降車し、HMさん指導の体操を行い、トイレをすませ天城山登山道にはいる。KIさんは回復し元気よく歩いている。四辻の分岐から左方向に折れ万二郎岳に登りだす。新緑の美しい森を見ながら歩を進める。 アセビの赤い新芽に目を奪われる。途中から木々の間に相模湾が見渡せた。この辺は海からの風の通り道で少し肌寒く感じる。富士山は生憎と雲の中だった。 頂上直下の急斜面をロープにつかまり頂上に出た。ここでは水分補給をして先に進む、たくさんのハイカーが来ておりお互いに道を譲りあいながら万三郎までのアセビのトンネルを通過すると咲き出したミツバツツジの鮮やかな色が目立ち始める。 待ちに待ったアマギシャクナゲは石楠立辺りからちらほらみられるものの数は少なく、今年は寒い日が続いたのか、裏年だったのかと気落ちしながら歩く。万三郎岳の頂上前で咲き出したひときわ薄いピンクの花に目を引かれたアマギシャクナゲの所でしばし足を止めて花を愛でた。(アマギシャクナゲは天城山固有の種類でここにしか自生してない。) 頂上は昼時で沢山のハイカーがランチ中。山頂では写真だけを撮り、この先八丁池まで未経験の登山道なのでSLのSKさんに先頭を歩いて頂く事にした。 30分歩いて小岳の頂上まで下り昼食をとる。山菜採りに行った仲間からスカンポ、シドケ、ワラビ、山椒などの山菜料理を頂いた。休憩場所は腰かけるのにちょうど良い石や倒木、ベンチもあり17名のランチスペースには余裕があり広々として気持ちの休まる場所でした。 昼食後に登山道から少し脇に入りヘビのとぐろをまいた樹形の「ヘビブナ」を見学した後はなだらかな下り道で木肌がスベスベのヒメシヤラ、新緑のブナの樹林帯をルンルン気分で行き八丁池に到着した。 八丁池の周辺では新緑にミツバツツジが咲いてピンク色が混じり素晴らしい風景。ひと月前に下見に来たときは濃霧で池				

の水際しか見られなかったのに。今日はガスも無く美しい水面をみることができた。

ぽかぽか陽気のなか 15 分の休憩をとり残り1/3 の道のりを歩きます。

ここからも SK さんに先頭に歩いていただき緩やかな傾斜を下っていく。そのうちにワサビ田に流れる川の水音が聞こえた。ゴールに近づいている。

1 時間歩き小休止。歩き疲れた人もいたがあと一息です。向峠から 2 度登り返して天城峠に到着した。

天城峠から旧天城トンネルに向かう傾斜地で若い女性がうずくまって体を山側に寄せて道を譲ってくれた。

最後尾の私が後ろを振り返ると彼女はほとんど動かない。気になり前を歩く KM さんにあの女性は歩けなくなったのではないかと話した。なんか心配な様子なので、KM さんと救護の SK さん 2 人で引き返して聞くと [高所恐怖症であまり動けないが大丈夫だ]との事だった。そこで約 10 分を費やしたが我々はゴールを目指し歩き出した。

17 時 10 分に旧トンネルの PK に到着した。身支度、体操をして写真を撮り終わったら、先ほどの彼女は足が前に出ないような歩き方でそろそろと下山して来た。

最終路線バスは出てしまったようなので沼津に帰るといって彼女を我々のマイクロバスに乗せてバスがある事を確認して途中のバス停で降ろす。彼女は我々のバスが見えなくなるまで手を振っていた。

[無事におかえり！次はトレーニングをして長丁場に耐える体力で。1 人で山には来るときは気を付けてね。] おばちゃんはずぶやく。

帰路は新東名高速で渋滞もなく、途中の足柄 SA で休憩し厚木に無事に帰着した。

[反省、特記事項]

○往路の伊豆スカイラインの急カーブで車酔いの人が出ました。

乗車するときに酔いやすい人に声かけする必要がありました。

○万三郎岳までの 1/3 のみしか先頭を歩かなかった。慣れた SK さんの歩みに皆さんが追従してよく歩いていました。

自分は最後尾につき良い流れを保持しました。次回があるなら全行程を先頭で上手にリード出来たらとおもいます。

SK さんありがとうございました。

○疲れ切った様子の登山者に遭遇した。時間も遅く、なにが起きてもおかしくない時刻であった。私たちも単独山行には万全を期して臨もう。

○よき仲間と 17.3 キロ 約 32,000 歩を歩きました。皆さん、トレーニングに励み参加されたようです。

ありがとうございました。